

しまねの河川と海岸だより

令和3年5月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- | | | |
|----------------------------------|-----|---------------|
| ◆ 「江の川流域治水推進室」が開所しました。 | 河川課 | 企画調査 G |
| ◆ 出水期に備え、洪水を想定した水防情報伝達訓練を実施しました。 | 河川課 | 河川開発室
防災 G |
| ◆ 第36回『水とのふれあいフォトコンテスト』作品募集 | 河川課 | 管理 G |



【新型コロナウイルス感染拡大防止のため】

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう！



「江の川流域治水推進室」が開所しました。

河川課 企画調査グループ

- ◆江の川流域ではわずか2年の間に「平成30年7月」、「令和2年7月」と2度の豪雨災害を受け、沿川では甚大な被害が発生しました。
- ◆こうした気候変動等の影響により頻発化、激甚化する自然災害に対し、あらゆる関係者が連携・協働する「流域治水」の考えのもと、これまでの治水対策から転換を図り、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速化し、流域の安全確保に努めていきます。
- ◆その一環として、江の川流域では国、県(島根県・広島県)、沿川市町が一体となって流域治水に取り組むための体制として「江の川流域治水推進室」を設置し、河川整備とまちづくりを一体的に推進し、地域の安全度の向上を図っていきます。

- ◆令和3年4月24日に「江の川流域治水推進室」が設置される江津市にて、コロナ対策を徹底した上で関係者が一堂に会し、以下のとおり開所式を執り行いました。



開所式に先立ち、関係者で結んだ覚書を、島根県知事と中国地方整備局長が手交しました。



開所式では岩井前国土交通副大臣を始め、流域関係者が挨拶し、事業概要について室長より説明がありました。



開所式は晴天に恵まれ、「江の川流域治水推進室」の看板除幕も行われました。

江の川流域治水推進室のホームページはこちら

<https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/suishin/index.html>



開所式終了後、

- ・江の川流域治水推進室 室長
 - ・江の川流域治水推進室 副室長
 - ・島根県土木部河川課長 3人で写真撮影しました。
- この3人はなんと同じ学校の同級生とのこと！



出水期に備え、洪水を想定した水防情報伝達訓練を実施しました。

河川課 河川開発室
防災グループ

これからの梅雨時期（出水期）に備えて、ダム出水情報や河川水位情報を滞りなく伝達するために、水防情報伝達訓練を令和3年4月22日に実施しました。

訓練は、例年ならばシステム操作や作業を把握するため、水防本部（河川課）では多くの職員が参加しますが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて昨年度から水防業務を行う水防室内への立ち入り人数を調整したほか、換気を十分に行うことで密にならないよう配慮して実施しました。訓練には、例年のとおり中国地方整備局、水防本部（河川課）、水防支部（各県土整備事務所）、市町村および各種関係団体が参加し、それぞれの機関において行うべき手順、行動を確認できたと考えています。

訓練当日は、本来ならば数日かかる洪水の現象を1日にまとめて行うため、状況によっては様々な連絡が集中し、訓練参加者への説明や情報伝達作業が遅れることもありました。

しかしながら、大規模な災害は様々な事象（河川水位の変動や、ダムの貯水位変動、放流状況の変化等）が連続して起きることもあるため、これに備える訓練としての効果を参加者で確認することができました。

また、昨年の台風シーズン以降に操作しなかった事象について、演習中に情報伝達が滞る場面もあり、出水期に備えて改めて再確認することができました。

訓練によって新たに生じた改善点等は、今後の出水期対応に向けて改善検討材料としていきます。

時間を区切って参加をしたため、すべての人が一連の流れを習得することは難しかったかもしれませんが、訓練で確認できた事象を情報共有し、適切な水防業務に努めて参ります。



第36回『水とのふれあいフォトコンテスト』作品募集

河川課 管理グループ

水の貴重さ、水資源の重要性について理解を深めるため、国では毎年8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」とし、全国で様々な行事が催されます。

その一環として、“水とのふれあい”をテーマとして「第36回水とのふれあいフォトコンテスト」を実施します。また、平成28年度からSNS部門がスタートし、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムからも応募ができます！

この機会に素敵な一枚を応募してみませんか!?

- 📷 募集作品 健全な水循環の重要性や水の貴重さ、水資源開発の重要性などに資する作品
例えば…「暮らしの中の水」
「生命を支え、育む水」
「ダムや水道など水をつくり、供給するもの」など



- 📷 応募サイズ カラー印画紙プリント
(キャビネ(2L)以上ワイド四つ切まで、A4サイズも可)
・デジタルプリントはA4サイズも可
※作品裏に応募票を貼り付けること

- 📷 応募先 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-30
富士フィルム五反田ビル
富士フィルムイメージングシステムズ株式会社内
「水とのふれあいフォトコンテスト」係宛



- 📷 応募締切 令和3年6月18日(金) ※当日消印有効

- 📷 賞・副賞
グランプリ 1名(賞金10万円・賞状・記念品)
優秀賞 3名(賞金3万円・賞状・記念品)
審査員特別賞 1名(記念品) 等々計30点の賞あり

SNS 部門



ツイッター フェイスブック インスタグラム

- 📖 テーマ 生活で使う水・海や川・景色など、水のあらゆる瞬間 ✨
- 📖 応募方法 ツイッター、フェイスブック、インスタグラムから応募
(先ずは、水の日をフォロー、「#8月1日は水の日」を付け投稿)
- 📖 応募締切 令和3年6月18日(金)
- 📖 賞・副賞
グランプリ 1名(賞金5万円)
特別賞 2名(賞金2万円)

詳しくは、水の週間実行委員会HPをご覧ください!
※応募票もダウンロード可能です



【編集後記】 河川課 企画調査グループ 廣瀬

今年度より河川課企画調査グループに配属となりました廣瀬です。しまねの河川と海岸について、しっかり勉強していきたくと思います。

今年は統計開始後2番目の早い梅雨入りとなりました。災害が発生しないことを願っておりますが、これから梅雨本番を迎えるため、いざという時のためにハザードマップなどの防災情報を確認するなど事前の準備を行っていただければと思います。

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/m>



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL : <https://k.river.go.jp/>

スマホ版



携帯版

